

4年ぶりに開催

特集Ⅰ オープンミーティング

特集Ⅱ より開かれた議会へ

令和6年度予算
町の予算のこと

特集Ⅲ どう使う? 私たちのお金

もっとよく見えわかりやすく 町民に開かれた議会へ

Fujimi

議会だより

No.

182

令和6年5月1日

富士見町議会だよりは議会ホームページでもご覧いただけます

<https://www.town.fujimi.lg.jp/site/gikai>



第11回 富士見の日 フォトコンテスト・長野日報賞「初めての春」 関和洋

4年ぶり！

参加して
よかった！

もっと聞きた
話したい！

オープンミーティング開催



2月17日(土)に開催した議会オープンミーティングには富士見高校生を含む町内在住および、在勤、在学の方々の計38人の参加がありました。それぞれのグループで建設的な意見が交わされました。

14人の
声

これからの集落での暮らし

冒頭で富士見高校生による「地域交流」のプレゼン発表後、密度の濃い意見交換を行いました。行政に対する不満や意見などもある一方で、建設的で発想豊かなアイデアなどもあり、我が町への強い思いを感じました。



住民参加のまちづくり

LINEなどスマホを活用できないか。

スポーツ大会は誰でも参加できる種目に。

スマホ操作を教えることがコミュニケーションになるのではないか。

インフラが整備されていると移住者も増えると思う。

高校生の企画や活動が地域交流の場に繋がっている。住民主導の活動がもっとあってよいのでは。



高齢社会の交通手段・公共交通

健康223と連携してバス停まで歩けば町内を移動できる仕組みを。

タクシーの補助金活用なども有効では。

他自治体の成功例などを参考に。

人の移動こそが知識を広め、地域経済の活性化に繋がる。

「自立したい」「周りに迷惑をかけたくない」という高齢者の意思を尊重するサービスを。

外国人の受け入れ

クラスに外国人は数人いるが普通に接している。

受け入れ体制が整っていれば問題ないと思う。

受け入れには賛成だが、ルールを守ってもらえる支援を充実させるなど慎重に進めて欲しい。



オープンミーティングとは？

富士見町議会では、町民の皆さんと共に歩む「開かれた議会」を目指しています。目的は、皆さんの声を町政に反映させること！町民の皆さんが町の課題について意見交換できる場所づくりを目指し、平成28年からオープンミーティングを開催しています。コロナ禍により令和2、3、4年度は中止となっていたため、4年ぶりの開催となりました。

15人の声

公共施設統廃合

今回のテーマである保育園・小学校の統廃合に懸念を持ちつつも地域の行事や通学路の雪かきに積極的に関わり、地域や子どもたちのことを大切にしてくださっていることを実感しました。



町の公共施設整備の計画書が、住民にしっかり伝わっているのかどうか。情報発信も様々な方法を使って、知らせてほしい。

境小学校がなくなったら、地域がますます衰退してしまうのではないかと心配している。地域の活性化を図り、町全体を元気にしていきたい。

少子化が進み、学校が統廃合されるという流れはあるが、学校は地域の中心である。今ある学校を活かして、高齢者が憩い、高齢者と小学生の交流ができるような場としてほしい。

統廃合も様々な形態が考えられる。学校の施設設備を縮小するような形も。

子どもたちや地域を大切に。何事にもメリットデメリットがあるから、各集落を回り、地元の声をしっかり聞いて。

教育分野の統廃合は最後に。

財政的に苦しいだろうが、住みやすさや富士見らしさを大切にしながら議論を。

境地区は移住者が多く来ている。移住者にとって、学校は移住の際の重要な点である。人口増の南箕輪村のような事例を研究して。



少子化対策とFターン

9人の声

高校で「遊休農地」について探究した高校生の発表をきっかけに、農家の減少や遊休農地の増加もFターンや少子化対策と結びついているという話題も出ました。富士見での子育て経験、定年後に富士見に戻ってきた経験や、現役の高校生の声など多世代の意見が集まりました。

今ある富士見の良さに目を向けていくことが大事。

移住を考えている人向けに、区に入る前に区費や出払いのフォローアップの機会があれば。

高校を含め「教育」に地域全体が参画している良さを活かし、富士見ならではの学びができると良い。

「子ども時代の楽しかった思い出」が富士見に戻りたい気持ちになるのでは。

「農的」な暮らしを求めて富士見にやってくる人への情報提供やマッチングも移住対策として考えて。

子どもは小さいうちから保育園などで大人や友だちとかかわりながら豊かな経験をしていく。未満児のうちから保育園に子どもを出す良さにも目を向けてみては。

地域の盛んな育成会活動や、保健師さんとお母さんのつながり等、ソフトの部分の良さを行政、区、民間団体などが体系的に発信していかれると良い。



そして、議会としてどう動くか

- 3つのテーマ分科会での活動を切らずに多方面でつないでいく
- 議会だよりでの進捗報告、継続してレポート発信
- 課題については、分科会で責任を持ち、解決に向けて役場担当部局に提案する
- 議員個人としても一般質問に取り上げられるものは取り上げていく
- オープンミーティングの開催方法についてもアンケートを参考に次回に活かす

貴重なご意見
ありがとうございました！



住民の **声** を積極的に聞く



より開かれた議会へ

「住民の皆さんの声を聞きに出向く」という大切な活動が大きく制限されたコロナ禍を経て、富士見町議会では各種団体との意見交換会を開催しています。

意見交換会

区・集落組合

富士見町議会ではこれまで実施していなかった新しい取り組みとして、議員が3グループに分かれ、各集落の区長や区議会議員の皆さんとの意見交換会を順次開催しております。日々感じている地域の課題や可能性についてご意見を共有することで、町内集落共通の課題を把握し、考えられる対策を町に提案することを目的としています。今後各区に順次お伺いできればと考えています。

平岡区・神代区



烏帽子区



各区へお聞きしているテーマ例

- 少子高齢化を受けた区の運営、区民 / 准区民への加入状況
- 支障木 / 山林（区有林、私有林）の管理状況
- 遊休農地や鳥獣被害の状況 ■ 区内道路、林道の状態
- 堰、主要水路の状態 ■ 空き家の利活用状況
- 高齢者の買い物、移動手段の状況など

意見交換会

道の駅「信州蔦木宿」生産者組合員

道の駅「信州蔦木宿」生産者組合は、富士見町・原村・茅野市・北杜市内に圃場(田んぼや畑)をお持ちで、ご自身が栽培されたものを出荷されている生産者で構成されています。1月19日は11名の生産者組合員の方にお集まり頂き、道の駅「信州蔦木宿」直売所活性化に向けたアイデアなど、沢山のご意見を共有頂きました。

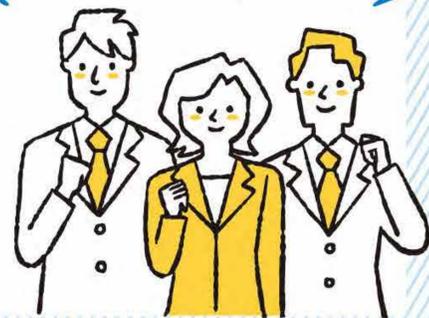


こんなお話も伺いました



- 設備** ■ 1年を通して販売できる加工品をつくるための設備・サポートが必要
■ 冷蔵庫があると常に新鮮な状態で売れるのでは
- 集客** ■ 牛乳や卵も買えるようにすると地元の集客につながるのでは
■ 集客に効果的なイベントや体験型コンテンツなどを復活させたい
- 運営** ■ レジに生産者が入ることで、副収入やニーズ把握にもなるのでは
■ 高齢の農家のためにも集荷の仕組みがあると嬉しい
- 営農支援** ■ 農機具が高いため、シェアできる仕組みがあると嬉しい
■ 営農指導や、親から農地を引き継ぐ生産者にも支援が欲しい

意見交換する中で
知ることができた課題を
今後の議員活動に
活かしていきます！



「議会だより：No.181」 掲載記事の訂正とお詫び

令和6年2月1日発刊の「議会だより：No.181」3ページの記事中に誤りがありましたので、お詫びし訂正いたします。富士見町議会では関係する皆さまに謝罪するとともに、再発防止に向けてチェック体制を強化することとしました。

掲載名称	正式名称
高原病院	富士見高原病院
富士見高原医療福祉センター長	統括院長
富士見町建設事業組合	富士見町建設事業協同組合

チェック体制の強化について

- より一層の確認作業を行います。(特に固有名称)
- 勉強会や意見交換会、所管事務調査など主催する委員会の責任者による確認を徹底します。(責任者が広報編集委員の場合は議長が確認)

議会広報編集委員長 牛山吉彦

令和6年度
予算を検証

どう使う？

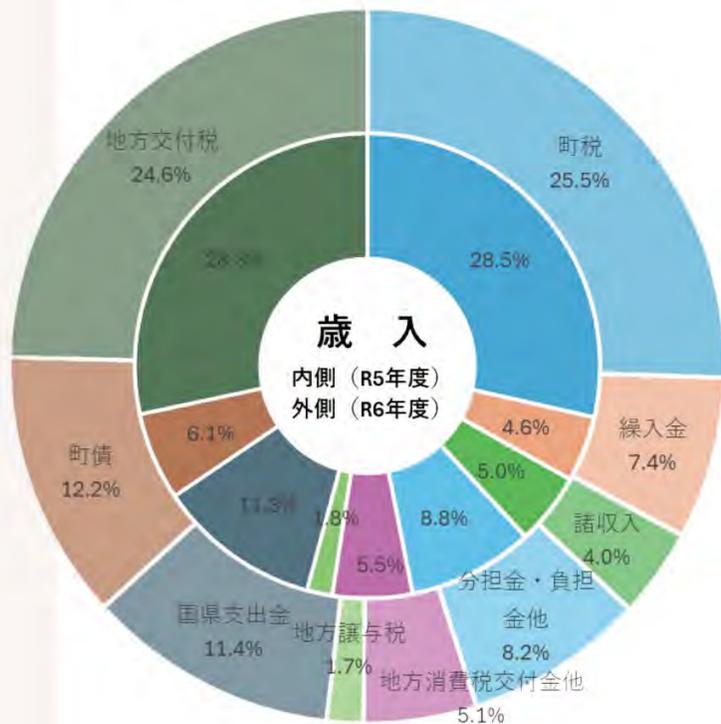
一緒に話そう・考えよう！
町の予算のこと

私たちのお金

詳しい予算内容は
「広報ふじみ4月号」
(2-3ページ)
をご覧ください



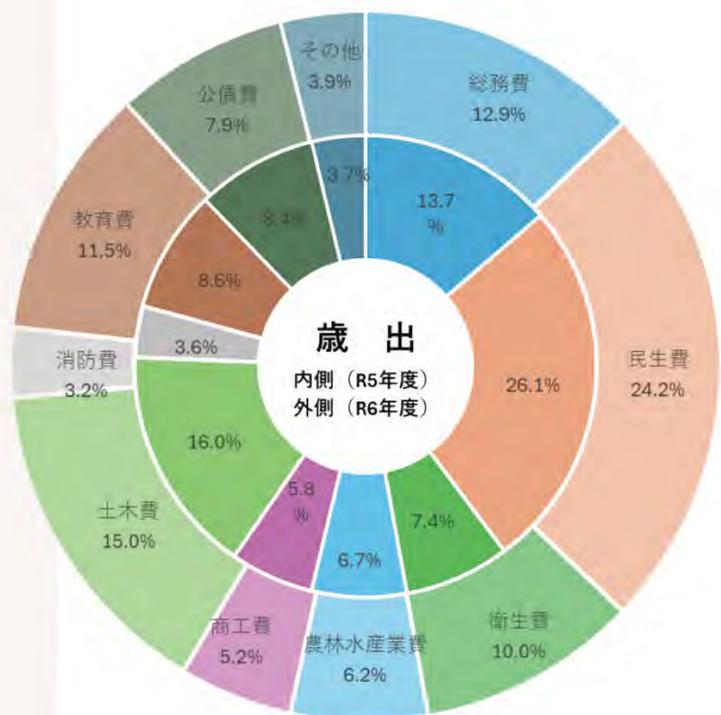
令和6年度当初予算は、町長方針に基づく6つの重点政策を反映する中で、特に「子育て支援・教育環境整備」の充実と「公共インフラ整備(上下水道・道路・橋りょう)」を重点に置いた、コロナ禍を乗り越えて町の魅力を高める大型積極予算が組まれました。予算編成を前期(令和5年度)と比較し、その内容を検証してみました。



項目名	令和5年度	令和6年度	前年比
町税	2,458,045	2,469,017	0.4%
繰入金	395,687	711,131	79.7%
諸収入	428,016	387,625	-9.4%
分担金・負担金他	755,102	790,142	4.6%
地方消費税交付金他	477,000	495,000	3.8%
地方譲与税	152,600	159,869	4.8%
国県支出金	976,650	1,099,116	12.5%
町債	526,900	1,178,100	123.6%
地方交付税	2,440,000	2,380,000	-2.5%
歳入計	8,610,000	9,670,000	12.3%

12%UPの大型積極予算の歳入内訳は繰入金と町債の大幅増

家計に例えると、給料「町税」は変わらず、貯金の取崩し「繰入金」と新たな借金「町債」が主な収入源(黄色部分)



項目名	令和5年度	令和6年度	前年比
総務費	1,177,041	1,251,699	6.3%
民生費	2,246,328	2,338,892	4.1%
衛生費	633,908	970,693	53.1%
農林水産業費	572,590	603,795	5.4%
商工費	503,466	499,460	-0.8%
土木費	1,377,323	1,449,047	5.2%
消防費	310,967	311,353	0.1%
教育費	738,228	1,108,741	50.2%
公債費	727,313	762,666	4.9%
その他	322,836	373,654	15.7%
歳出計	8,610,000	9,670,000	12.3%

- 水道事業会計への負担金(第6水源ろ過施設事業)
- 地球温暖化対策など

- 小学校エアコン設置
- 学力向上推進
- 新井戸尻考古館建設など

政策提言を早速予算化！

令和5年9月に議会から町に出した政策提言の1つ「町内外への情報発信強化のためのコミュニケーションチーム新設」に対して、町は早速動き出しました！令和6年度当初予算で、新規事業である『まちづくり推進事業』として総務省が外部専門家(地域力創造アドバイザー)を派遣する制度を活用しながら、若手職員を中心とした横断的な戦略チームを編成し、効果的な町の魅力発信について研究を始めます！
※地域力創造アドバイザー委託料 560万円

観光

創造の森整備事業

創造の森を中心とした八ヶ岳観光をどう
もりあげていくのか



名取議員

町の回答

令和6年度は創造の森に大型展望デッキを整備する。改めて5か年計画を立案し、観光の拠点として八ヶ岳の持つポテンシャルをフル活用した整備を進めていく。更には官民共同で何ができるか、改めて検討していく。



こう 評価

八ヶ岳は登山口だけでなく、信玄の棒道や鉢巻道路周辺等観光のポテンシャルは高い。今後の整備に期待する。

どう使う？

令和6年度予算
町の予算の

私たちの

2日間にわたる予算審査の中で各議員が質問した中から、特に取り上げたい項目の質疑内容と評価をお伝えします。

社会 教育費

新井戸尻考古館 建設事業 4,791 万円



山口議員

新館建設の計画段階から、地元や井戸尻応援団の方々の参加予定はあるか。町民への説明の予定は

町の回答

6名の専門の方には依頼し検討を進めている。住民の方々への説明も行っていく。井戸尻考古館は建館50周年の記念事業も実施するので、これまでの歩みを振り返りながら、今後のあり方についての意見交換をする機会にしていきたい。



こう 評価

考古館入場者が1万人に迫り、縄文文化に対する関心が高まっている。「おらあとうの遺跡」という地元の思いを大切に新館建設を進めてほしい。

防災行政 無線

音声合成システムで 誰もが聞き取りやすい声



五味議員

悪天候でも聞き取りやすい放送とは、既存の屋外拡声器などの機材類の出力量などを物理的に更新するものか

町の回答

防災行政無線の操作卓を「メール配信」「SNS」「防災アプリ」等、複数のツールから同時に発信できるよう更新する。聞き取りやすい放送とは、災害時の放送は日頃訓練をしている職員がすべてに対応できるとは限らない、高品質な音声合成システムにより放送音源をデジタル処理することにより機能的に聞き取りやすくするもの。



こう 評価

悪天候時の防災無線が聞き取りづらい事は喫緊の課題、情報の同時発信や音声合成等のデジタルの力に期待する。

環境 衛生費

丸山墓地公園合葬墓地 計画について



織田議員

令和4年に合葬墓地設置に関する一般質問の中で町長の答弁は事業化を進める回答があったが、この委託料の中に合葬墓地の測量設計は入っているか

町の回答

令和5年度に合葬墓地設置には丸山墓地が有力であり、墓地全体の補修の地質調査では場所的には問題ないという結果が出た。今年度の測量設計予算は公園墓地の階段等の補修に関わる工事についての予算になるが、合葬墓地についても並行して進める。



こう 評価

合葬墓地計画を進める計画であることを確認できたことは評価したい。6市町村では最後になった合葬墓地造成の着工に向けて計画はスピード感をもって進めて欲しい。

観光開発

「創造の森」への登山道整備は



牛山議員

「創造の森」へのアクセスが電動カートとリフトのみであり、登山道の整備も必要だが町の方針は

町の回答

令和6年度は「富士見高原創造の森」に大型展望デッキの設置を行い、八ヶ岳観光の拠点として5か年計画に基づき整備を進めていく。登山道の整備は渋滞緩和だけでなく健康増進にも必要であり、次年度以降に整備する予定である。



こう 評価

本来であれば先行して、もしくは同時に行うのが望ましいが、計画に基づき整備するので評価したい。



土木費

インフラ整備事業

幹線道路の舗装補修5ヶ年計画における新年度の予定は



矢島議員

町の回答

土木費は道路維持修繕事業や道路施設予防保全対策事業、橋梁維持費などの道路橋梁費、河畔林整備事業、都市計画見直し等、総額14億4,905万円、前年対比7,172万円の増となる。その中で道路整備予定の町道は7路線。1.テクノ街道、2.富里南原山線、3.北通り線、4.新田原の農道、5.乙事広原線、6.流川線、7.高森信濃境線。

こう評価

重点政策を反映する中、安心安全な生活環境を維持するためインフラ（上下水道、道路、橋梁）は防災の面からも重要。



お金

インフラ整備

道路整備事業及び上水道事業の状況

小倉議員



<建設課>費用対効果を高める道路工事の実施時期を。<上下水道課>第6水源膜ろ過方式浄水場整備事業とは

町の回答

<建設課>春先の舗装補修など早期発注し繰越事業とする。他の工事も実施時期を考慮し対策を行う。<上下水道課>第6水源は、白谷隧道の湧水を使用しているが、近年濁りが出るようになってきたため、膜ろ過により濁りを除去し、より安心・安全な水道水を提供できるように整備するもの。令和6年度末事業完了、令和7年度供用開始を予定している。



こう評価

インフラ整備は暮らしに欠かせない。適切な発注、資金対策、及び町民負担軽減のための激変緩和策等を評価。

出産・子育て

助産師との連携が開始

渡辺議員



産後ケアの枠を超えた、町事業での助産師の活躍場面や、子ども課との連携体制は

町の回答

パパママ教室・新生児訪問・乳児健診・乳幼児相談に、保健師だけでなく助産師も参加することで支援の拡充をはかる。産後ケアは実績も増え予算も105万円と増額計上した。産後の訪問・健診時にも案内し、子ども課に相談する方にも産後ケアの案内ができるよう、こども家庭センターとして一体的に出産・子育ての支援を行う。



こう評価

これまでできていなかった助産師との連携による、充実した産前産後ケアの実現に期待。

まちづくり推進事業

富士見高校との連携・地域おこし協力隊配置

西議員



富士見高校と町との連携の仕方はさまざまな方法があるが、委託型の地域おこし協力隊を配置する理由は

町の回答

委託型の地域おこし協力隊員として、富士見町と富士見高校との協働の取組を理解し魅力を伝えられる方を公募したい。富士見高校が本来持っているポテンシャルの評価、既に行われている地域との連携事例を検証してもらい、その取組を発展させてもらいたい。先生方とのかかわりも大事に、行政と富士見高校と協働の取組を推進していきたい。



こう評価

高校と町との連携をより深くし、富士見町として高校の魅力化に取り組んでいく具体的な展開に期待したい。

財政管理

地域力創造アドバイザー制度利用

三井議員



地域力創造アドバイザー制度の利用は、何を目的として、どのような効果を期待するか

町の回答

総務省で行っている制度で、外部の専門家によるアドバイザー制度である。既存事業・新事業の企画立案・事業財源の発掘などに対して助言や意見をいただき、組織力向上と地域活性化を図る。月1回のヒヤリング指導等を計画し、アドバイザー1人に委託をする。事業費総額は、193万5千円とし、特別交付税措置の対象予算である。

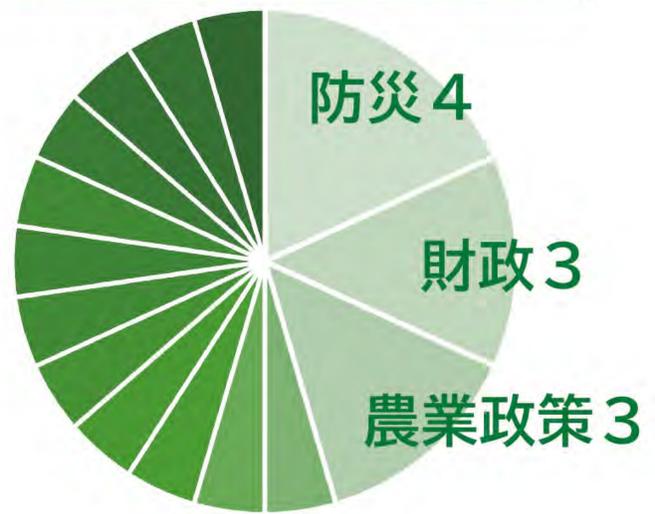


こう評価

新井戸尻考古館建設事業や公共施設等長寿命化計画による大型事業に備え総務省の制度を活用して財源確保を図ることを評価する。

町の考えを問う

一般質問で取り上げられた主なテーマ



3月定例会の一般質問は、3月4日、5日の両日行われました。8人の議員が登壇し、町と町教育委員会の考えを質しました。質問時間は、各議員に質問と行政側答弁を合わせて1時間割り当て、町側に通告した全項目を行います。質問順に、各議員の主な質問項目と、その答弁要旨を掲載します。



一般質問の映像はコチラ

質問順	議員名	議席	質問項目	開催日
1	渡辺 葉 (わたなべ よう)	議席 6	<ol style="list-style-type: none"> 中長期的財政シミュレーションの策定について 財政に関する分かりやすい情報発信と開かれた審議の場づくりについて 財政シミュレーションや施設/インフラマネジメントにおける増収策について 	3月4日
2	牛山 吉彦 (うしやま よしひこ)	議席 5	<ol style="list-style-type: none"> 帰去来荘跡地に関する経緯と町の方針について 森林整備と支障木対応について 公共インフラ更新や次世代を見据えた体制強化について 	
3	西 明子 (にし あきこ)	議席 10	<ol style="list-style-type: none"> 町のジェンダーギャップ解消に向けた取り組みとは 審議会・委員会のあり方について 防災における女性の役割について 	
4	矢島 尚 (やじま たかし)	議席 3	<ol style="list-style-type: none"> 災害時の対応と消防団活動について 新たな観光事業について 	
5	山口 肇 (やまぐち はじめ)	議席 2	<ol style="list-style-type: none"> 町の農業政策について 子どもの意見表明の機会や場づくりについて 子どもの医療費について 中学校橋について 	
6	名取久仁春 (なとり くにはる)	議席 7	<ol style="list-style-type: none"> 防災訓練における区未加入者について 農地維持活動支援交付金について 	3月5日
7	三井 新成 (みつい しんせい)	議席 4	<ol style="list-style-type: none"> 地震対策について 農業の今後のあり方について ポストコロナ時代の出生率を上げるための対策について 	
8	織田 昭雄 (おだ てるお)	議席 1	<ol style="list-style-type: none"> 水道料金及び下水道使用料の値上げと耐震化について 暮らしの足を守る地域公共交通の計画について 	

■ 質問順は、議会運営委員会の中で、委員によるくじ引きで決めています。■ 一般質問の要旨は、各議員がそれぞれ自分のページを責任編集しています。

中長期的財政シミュレーションの策定・公開は

答弁 財政課題対策に必要、策定し町民と協議する

わたなべ よう
渡辺 葉 議員



A 老朽化する公共施設・橋梁・道路の維持費増が今後の大きな課題。基金や地方債利活用も含む財源試算や、少子高齢化による税収減や社会保障費増などの様々な要素も加味した10~20年間の財政シミュレーションを作成し、町の事業について町民と一緒に協議しながら進めることが必要だと考える。

Q 財政シミュレーションを活用した情報発信や審議の場づくりは。

A 漫画等も取り入れた財政見通しの広報が必要。今後は行財政審議会のような会の設置が必要になってくる。サイレントマジョリティに参加頂く手法として、無作為抽出も意識してやりたい。R7年以降の小学校・保育園のあり方検討時には、大勢の方が色々な意見を出し合うワークショップの対応もしたい。

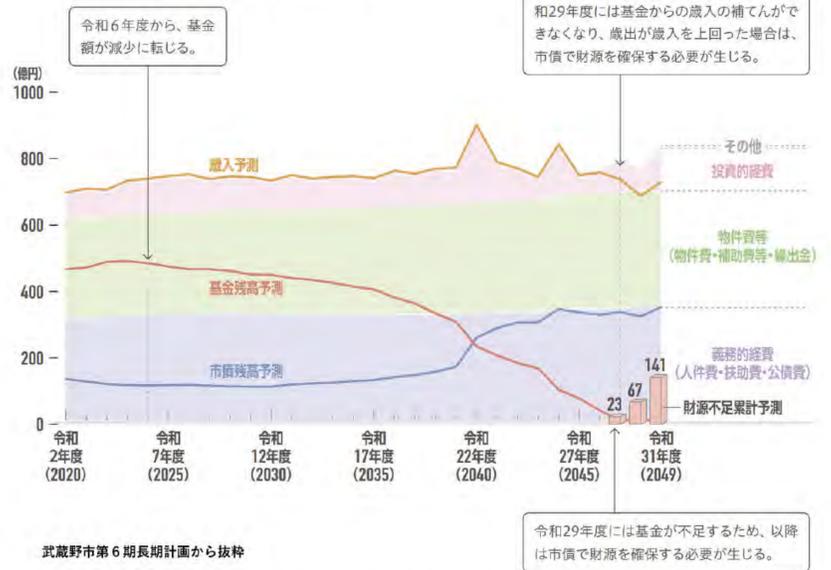
Q 統廃合による費用削減だけではなく、増収策や施設の複合化や公民連携を同時検証する考えは。

A 歳出歳入の両面で知恵を絞り、民間を含む施設の有効活用について町民のアイデアも結集し議論することは大事な視点。相乗効果を生む施設の多機能・複合化も重要な選択肢。中長期的な増収策として産業・観光振興に力を入れる。

Q 本郷・境小の児童数が想定より増加し3校体制が社会増の要因とも考えられる中、仮に統廃合した場合生産年齢人口目標は達成できるか。

A 学校維持は子育て世帯増の要因のひとつ。学校は地域コミュニティの核となる要素もあり、地域の中心に学校があることは重要。

◆ 令和2(2020)~令和31(2049)年度 財政シミュレーション
(歳出構造と歳入、基金、市債、財源不足累計額の推移)



武蔵野市の約30年間の財政シミュレーション

帰去来荘跡地の町の方針は

答弁 全町的な住民合意と協働の維持管理が必要

うしやま よしひこ
牛山 吉彦 議員



Q 昨春、地元から要望書が出され、帰去来荘跡地の歴史的、文化的価値の存続を望む声があるが、町の方針は。

A 当該土地は現在スペイン系企業が所有しており、太陽光発電計画を町民による反対運動もあって業者が計画取り下げを行ったことは承知のとおり。昨春には周辺地区や住民から要望書が出されたが、土地の権利は所有者にあり、仮に町が当該土地を取得する場合には全町的な住民合意の上で、明確な目的と将来的な維持管理方法を検討する必要がある。

Q 【協働】という点から、例えば周辺地域を「県指定の里山整備利用地域」として維持管理や利活用をする方法が考えられるが、賛同する住民などから構成される協議会に町が支援するなどは可能か。

A 協議会設立時の町のサポートは可能だが、地権者との交渉や仲介などは極めて難しいと思う。慎重に進めていきたい。

■ 道路際の支障木対応は

Q 道路際に伸びた木々は交通の妨げになるだけでなく、着雪による停電や森林整備における特殊

作業など対応が難しい。また、森林際の伐採は獣害対策にもなるため町が主導して整備をしてはどうか。

A 区や目撃者の要望により、地権者の了解を取りながら順次対応している。スクールバス路線など必要な箇所も承知しており、現在交渉中である。電線等に架かる支障木は中電やNTTなどが対応するが、枝払いが基本で伐採は地権者の了解が必要。



帰去来荘跡地

ジェンダーギャップ解消と防災対策は

答弁 まずは周知、啓発が大事

にし あきこ
西 明子 議員



Q 役場庁内のジェンダーギャップ解消に向けた取り組みは。

A 係長相当職以上の女性割合は平成27年の20%から令和5年では41.4%となり、2倍以上に増えている。男女間の給与格差を全職員で比較すると令和4年度では女性職員の給与は男性職員に対して69.2%。男性職員の育児休業取得状況は令和4年度までの0%から令和5年度には57.1%となり、平均で1~2週間の育休を取得している。性別を問わず育児休業等を取りやすい環境の整備を進めるため「育児介護のための両立支援ハンドブック」を作成し周知している。

■審議会のあり方

Q 富士見町は審議会の女性割合の目標値は25%と6市町村で最も低い。審議会での女性登用拡大や「審議会の設置に関する指針」作成等はどうか。

A 女性委員の比率の高い自治体を参考に人選を行う。審議会の公開や開催告知などについては課題がある。公開可能なものはどのようなルールで公開し開催の周知をしていくか、県や近隣自治体の「審議会の設置に関する指針」等も参考にし、検討を進めていく。

■防災における女性の役割

Q 能登の災害も踏まえ、避難所運営等も含め防災に女性参画のための仕組みの整備が急務。町として一番に取り組むことは。

A 防災士の資格取得について各自主防災組織から、女性の推薦をしていただくようPRしていく。女性が受講しやすいような環境整備等、できるところから検討していく。



令和5年9月の町の総合防災訓練の様子

災害時における保育園・小中学校の安全対策

答弁 新たに下校時の訓練について計画する

やじま たかし
矢島 尚 議員



Q 災害時における保育園・小中学校の子どもへの安全対策は万全か。

A 全園において安全マニュアルと避難訓練実施計画を定めており月1回火災、地震、防犯の訓練を行っているほか、年2回保護者への引き渡し訓練や、訓練に合わせ防災に関する園児向けの啓蒙教育も行っている。小中学校は、全ての学校において危機管理マニュアルを整備。学校防災としては集中豪雨や地震、火災などの自然災害等事前告知訓練や抜き打ち訓練を含め年4回訓練を実施している。令和6年度は下校時の訓練を計画し、子ども達の自主性での避難行動を身につけたいと考えている。能登半島地震をうけ、実際に被災された地域から学び今後活かしていきたい。

■新たな観光事業

Q ハケ岳をPRし観光事業への意向を示しているが、今後のハケ岳構想とは何か。

A 全国的に知名度が高くブランド力も高いことから、積極的に活用すべき観光資源であると考えている。現在、創造の森5ヶ年計画を作成しているところ。打ち出したハケ岳観光の強化は、拠点創造の森

として、山岳観光を強化していくもので、登山口や登山道の整備、エリアの自然環境の保全にも取り組みながらハケ岳のポテンシャルを最大限に活かした観光地づくりを官民連携で目指していきたい。公園内全体的な充実と散策時間の延長を図るとともに、将来的にはリニアの開通を見据え、アクセス向上を活かしたインバウンドなどの誘客の仕組みづくりにも繋げていく。



自主性での避難行動を身に着けるために

農家の高齢化と後継者不足の現状をどう考えるか

答弁 畑地化促進で耕作放棄地が増えることを心配している

やまぐち はじめ
山口 肇 議員



Q 町としての農業政策をもつべきでは。

A 町独自で農業政策を実施するのは難しい。国の補助制度を活用して、農地の確保と農業支援を実施していく。

■子どもの意見表明の機会や場づくりを

Q 令和6年度、子どもの意見表明の機会や場づくりの計画は。

A 青少年健全育成町民会議の事業として、町内中高生との意見交換を新たに計画している。中高生との対話を通して、当事者の思いや願いを受け止めたいと考えている。

Q 「生徒指導提要」の改訂に伴い、校則の公開や見直し等をどのように進めていくのか。

A 富士見中では、校則の改訂を進めてきた。性の多様性に配慮する形で、「既存の男子服、女子服」という発想を取り払い、ネクタイやリボンについても個人の判断に任せるようにした。教職員が性の多様性について研修し、生徒の意見を聞き、保護者への説明も積み重ねてきた。

■子どもの医療費無償化を

Q 県は子どもの医療費無償化を中学3年生まで拡大し、町に補助金が支給されるようになった。その金額と使い方は。

A およそ600万円。子どもの医療費は、町独自の施策として、すでに1レセプト当たり300円とする受益者負担分を除く補助をしているので、更なる補助の予定はない。総合的な福祉施策のなかで使っていく予定。



小中高校生の意見を町づくりにいかす

区未加入者の名簿公開は

答弁 個人情報保護の観点から困難

なとり くにはる
名取 久仁春 議員



Q 町内の区未加入者の実態は。

A 現在町全体で3,294名・人口全体の24%である。

Q 地区別の人数は。

A 富士見地区で1,249名、本郷地区で501名、落合地区で829名、境地区で715名である。

Q 避難訓練における未加入者への通知方法は。

A 郵送で通知して、内容は訓練に参加のお願いと、居住区から近い一時避難所を案内している。

Q 避難訓練参加の状況は。

A 昨年9月の訓練では293名の参加。

Q 区への情報伝達は。

A 自主防災会連絡会を毎年1月と7月下旬に行っており、そこで未加入者にも避難訓練の安否確認に参加するよう通知している事を伝えている。

Q 区未加入者の方をそれぞれの避難所に案内をするなら、その区に対象の方の名簿を発行して区の協力を得ては。

A 個人情報保護の立場から未加入者の方の情報は開示できないのが現状である。ただ、避難所対象集落には未加入者の人数を情報提供しても良いと考えている。

Q 農地維持活動支援交付金の実績は。

A 令和5年は8集落、68haの農地が維持管理されている。

Q 今後の方針は。

A 今後も継続していくが、国の交付金が受けられるような体制づくりの支援をしていく。

Q 区の補助金となると多面的機能支払い事業であるが、諸管理を厳格に行わなければならない。具体的な支援策は。

A 集落支援員制度の活用を考えている。

Q どんな方を支援員にお願いするのか。

A 農業に関しては、農協関係や役場のOBや地域でも適任者がいらっしゃるの今後人選していきたい。



自主防災会による消火栓訓練

耐震診断の周知と二次避難所の見直しをすべき

答弁 来年度はがき周知と避難所の装備を検討する

みつい しんせい
三井 新成 議員



Q 町内の耐震対策を必要としている建物の所有者の把握と耐震診断の周知は。

A 昭和56年5月31日以前の建物で1,820戸あり、固定資産の課税台帳からも旧耐震基準の住宅を把握している。周知方法は、通知はがきを送ること、町の広報誌や区の回覧板に掲載してお知らせしている。

Q 東南海地震を想定しての対策はできているか。

A 東南海地震を含む南海トラフ地震は、平成26年3月に地震防災対策推進地域に指定され、地震発生時の対応力について県と情報共有を図っている。

Q 二次避難所の在り方を再検討する必要性があると考えているか。

A 町内には現在7か所の耐震化が図られた小学校等を指定している。多くの方が避難でき、かつ、教室等の部屋の数が多いことから、避難者の状況等によって使い分けるメリットがあり、各地域に最寄りの避難所を指定することで、移動距離を短縮し、分散することで密な状況を回避できる。

Q 二次避難所の受け入れ可能な人数は。

A それぞれ体育館を使用し、富士見小学校147名・富士見高校367名・町民センター230名・富士見中学校349名・本郷小学校162名・旧落合小学校

162名・境小学校162名、合計で1,579名を受け入れられる。

Q 真冬の避難所の寒さ対策、感染症対策等を再検討すべきと考えるか。

A 能登半島に支援に行かれた職員等の体験を参考に避難所の開設に向けた装備を検討する。



まちの指定避難所看板

昨年の公共交通実証運行から見えた課題は

答弁 地域公共交通は絶対に町の将来に必要な最重要施策の1つである

おだ てるお
織田 昭雄 議員



Q 暮らしを守る地域公共交通は町民の衣食住を支えるのに1番大切なものと考えているが実証運行から見える課題は。

A 誰もがマイカーに頼らず、どこまでも自由に優しく移動できる町を目指す。実証運行は30日間行い約2,000人の乗客があった。運行ルートの集落にお住まいの皆さんを対象に、一般の方から小中学生、保護者、高校生までを対象としたアンケート調査を実施した。問題点は日中の不便さ、バス停が家から遠い、小中学生からはバス停の位置や運行時間やバス路線が解らない、高校生からは電車との接続について、小学生の保護者からはバス停の位置や安全性についてなどの問題点が挙げられた。実証運行を見ると利用者のない時間帯もあった。運行コストやダイヤの見直しが必要と考える。

Q 人口減少が進む中で乗車客の減少も予想される中で新しい公共交通には費用も相当に必要と思うが、この事業を行うのに必要な予算の概算は。

A 費用がかかる事業であることは事実だ。利用面だけでなくコスト面での検証を行いながら持続可能な

事業になるよう検討と見直しを進めたいと思っている。この地域公共交通というのは町として将来絶対必要な事業だと思っている。地域公共交通はこれからの富士見町の最重要施策の1つだと考える。ある程度のお金は掛かる事は覚悟して進めなければいけない。十分配慮しながら検証を進めて行きたいと思う。



6年度も実証運行が行われるバス



いのちと暮らしを守る議会の使命は

うしやま もとき
議長 **牛山 基樹**



～自然災害から学び備えること～

能登半島地震によって犠牲になった方々にお悔やみを申し上げますとともに、被災された方々に心よりのお見舞いを、富士見町議会として申し上げます。

今定例会は多くの議員が一般質問、予算審査を通じて、防災・減災、地域防災力強化について取り上げました。「寸断」「孤立」「寒さ」被災地から連日伝わる報道に、平常時では見えない課題を議会としてしっかりと見据え、検証する時間にしなければなりません。

糸静線上に位置する当町は傾斜の大きな中山間地にあり、能登半島で起こったことは共通する課題です。ライフラインの強靱化はもとより、物資や医療などの経路確保のために、地域をつなぐ「道」についても改めて考えなければなりません。

～議会防災マネジメント～

地震で被害を受けた奥能登地域4議会は、地震への対応を優先するため定例会を遅らせ短縮する決定をしました。こういった考えの他に、議会運営・改革の視点からは、非常事態であったコロナの中で「議事を止めないために、何を学んだのか」を並行して地方議会に問いかけています。有事だからこそ『必要・緊急』とされる議会でなければなりません。議員連繋・住民とのコミュニケーションを、例えばデジタル活用によって業務を継続させるなど、議会業務継続計画（BCP）についても住民の安心のために先進地を学び議会の備えをしてまいります。

臨時会

第 **534** 回

令和 6 年 1 月

令和 6 年 1 月 15 日臨時会が行われました。
内容は、町の一般会計補正予算でした。
決定事項は、以下の通りです。

臨時会

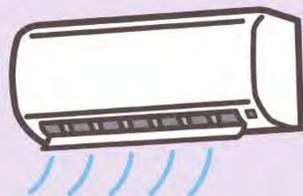
第 **535** 回

令和 6 年 2 月

令和 6 年 2 月 13 日臨時会が行われました。
内容は、町内 3 小学校空調設備工事（債務負担行為）の工事請負契約の締結、町の一般会計補正予算でした。決定事項は、以下の通りです。

1 月臨時会で決まったこと

補正
予算 **3 億 3,360 万円**



小学校エアコン83台設置

町内 3 小学校のエアコン83台の設置
工事（債務負担行為）補正予算が上程

2 月臨時会で決まったこと

補正
予算 **4,836 万円**



町民 1 人 3000 円の 「町民応援振興券」を発行

町内の 130～140 店舗で、利用できる

臨時会で決まったことの

議員の視点

町内小学校のエアコン設置を早急に進める上で、進捗確認や資材不足、工事完了が遅れた場合の暑さ対策についての質疑があり、全員一致で補正予算を可決した。エアコン設置の工事請負契約の締結は、全員一致で承認した。町民応援振興券事業については、事業の有効性や事業決定の過程について、利用店舗や利用期間、国の交付金と基金繰り入れによる事業の内容についての質疑があり、全員一致で補正予算を可決した。

文責 山口 肇

3月議会で決まったこと

3月定例会は2月29日から3月15日の会期で開催され、補正予算や条例改正、令和6年度一般会計予算、特別会計予算、議会提出議案、陳情等、32議案を可決、承認しました。

補正
予算

980万円

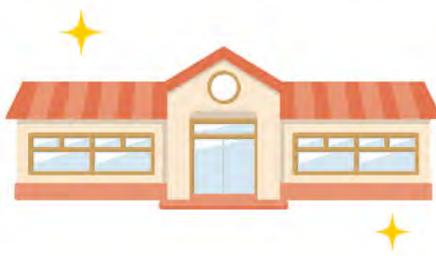


パノラマスキー場 リフト応急措置費用

リフト減速装置の故障に対する応急措置費用。

補正
予算

2,178万円



保育園の施設改修等

老朽化する各保育園の施設改修や備品整備の費用。

補正
予算

400万円



人材紹介委託料

年度途中の入園に備え、保育士確保のための人材紹介委託料。

補正
予算

5,850万円



道路及び橋梁の維持修繕費

補正予算化し令和6年度に繰り越すことで、春先の工事に早期着手し、年間の工事バランスを考える。

条例
改正



富士見町商業振興条例の 一部を改正する条例

建築・建設、設備業が大型作業用機械などの生産設備を導入した場合、製造業と同様の補助金制度を創設する。

条例
制定



富士見町議会議員の 請負状況の公表に関する条例

議員個人による町との請負の状況の透明性を確保するために、請負の状況の公表に関する条例を制定。

賛否が分かれた審議

○賛成 ●反対 ※棄権

議案名等	議員	織田 昭雄	山口 肇	矢島 尚	三井 新成	牛山 吉彦	渡辺 葉	名取久仁春	五味 仙一	小倉 裕子	西 明子	採決結果
【町長提出】												
[議案第20号] 令和6年度 富士見町一般会計予算		○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
[議案第21号] 令和6年度 富士見町国民健康保険特別会計予算		○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
[議案第28号] 教育長の任命につき同意を求めることについて		○	●	○	○	○	○	○	○	○	●	同意
令和6年度 一般会計予算												
賛成討論	地域力総合アドバイザー制度を活用した町づくり魅力発信、公共施設等の大型事業推進に備え、総務省との連携を深め財源確保に努めようとする町の姿勢を評価。											
反対討論	コロナ後の活性化を目指す大型予算や町民の声を行政に活かそうとする施策は評価するが、中学校橋の仮設計算が計上されていることは認められない。予算は少額で、町民の1割の反対署名ではあるが、その声をなかったことにはできない。											
令和6年度 国民健康保険特別会計予算												
反対討論	国民健康保険特別会計は、毎年多くの繰越金を残している。その繰越金は、国保加入者の負担軽減に使われるべきと考えます。県統一による住民の負担感、丁寧な説明を積み重ねる努力を求める。文責 山口 肇											

審査のなかみ

委員会で審査された内容

総務経済常任委員会

観光施設貸付事業特別会計補正予算 パノラスキー場リフト応急措置費用

- Q 応急措置と今後の対応は。
- A 応急措置はセンターゲレンデに設置されている故障した部品と同機種を外部から借用。シーズン終了後に返却し、今後の方針を検討する。
- Q リフト故障による影響は。スキー教室でのクレーム等はあったか。
- A 来場者に大きな影響はないが、満足度は変わる。川崎市や多摩市のスキー教室は、センターゲレンデが中心だったので、影響はあった。クレームはなかったが、子どもたちに不満はあったと思われる。

富士見町商業振興条例の一部を改正する条例

- Q 土木建築関係以外の業種からの要望は。
- A 小売業の設備についての要望もあったが、まずは生産設備の導入に対する不公平感をなくしたい。
- Q 一人親方を補助対象にした理由は。
- A 従業員数に関わらず、大きな生産設備は必要となるため、このような補助対象とした。

社会文教常任委員会

補正予算 保育所運営事業の人材紹介委託

- Q 保育士不足の現状は。
- A 現時点では、保育士は充足している。今後の保育士不足に備えて、人材紹介の委託をする。
- Q 保育士不足は、全県的全国的な課題。保育士資格のある方々の発掘の方法は。
- A 県の人材バンクの取り組みがあるので、登録の呼びかけをしていきたい。

△切り取り線▽

あなたの声を聴かせてください

上部のハガキを切り取り、みなさんのお声を聴かせてください。どんなことでも結構ですので気になることをお知らせください。議会では町民の皆さんと共に歩む開かれた議会を目指します。

ガザ地区における戦闘停止及び人質の即時解放を求める決議

富士見町議会は令和6年3月（第536回）定例会において全会一致で「ガザ地区における戦闘停止及び人質の即時解放を求める決議」を可決しました。

TOPICS

「富士見町議会 行き」はがきの扱い

毎回このハガキを通してみなさんのお声を届けてくださり、心から感謝しております。内容は、議会だよりについて、私たち議員への叱咤激励、また町政に関することなど多岐にわたりますが、貴重なご意見をどう取り扱っているのかについて説明します。

上部のハガキをご活用くださり、ありがとうございます！

議会事務局に届いたハガキ

↓
全議員で共有

↓
内容毎に右図の対応

議会で対応を検討した内容については、当議会だよりで適宜報告いたします。

議会だよりに関する内容	→ 議会広報編集委員会で検討・対応
議会・議員に対する内容	→ 議会全員協議会で共有し、 ■各議員が検討・対応 ■議会としての対応を検討
町政に対する内容	→ 議会全員協議会で共有し、 ■各議員が一般質問等で対応 ■議会として対応を検討し政策提言等に繋げる ※ 必要と判断した場合は担当部署と情報共有します

料金受取人払

3 9 9 - 0 2 9 0

茅野局承認

1724

差出有効期限
令和8年1月
31日まで
切手不要

長野県諏訪郡富士見町落合 10777

富士見町議会 行き



みなさんの声を聴かせてください

貴重なご意見ありがとうございます。
もしよろしければ該当欄にマル印をつけて投函してください。

10代・20代・30代・40代・50代・60代・70代・80代・90代以上

※いただいた内容は議会だより（匿名）で掲載させていただく場合があります

許可する 許可しない

< 切り取り線 >

POST
SCRIPT

編集後記

新しい体制での議会活動が1年経ち、議会だよりの発刊も臨時号を含み5回を迎えました。多くの町民の皆様手に取っていただけるよう、読んでいただけるように努めてきました。昨年はコロナ禍による行動制限も解け、住民と議員が直接顔を合わせる機会も増えましたし、オープンミーティングも4年振り開催となりました。

今後はさらに住民の声を町政に届ける活動に邁進するとともに、議会だよりがその一助になるように努めてまいります。

議会広報編集委員長 牛山吉彦

NEWS

Facebook 随時更新中!



富士見町議会ではFacebookを随時更新中です。一般質問や本会議の情報を確認いただけます。ぜひご活用ください。



議会活動、全員協議会のスケジュールはホームページをご覧ください。



^ 切り取り線 ^

YOUR
FUTURE

聞かせて

あなたの未来



能登半島地震の被災地に、DWAT（災害時派遣福祉チーム）の一員として支援活動に参加した富士見町社会福祉協議会の進藤さんにお話を伺いました。

富士見町社会福祉協議会
進藤 竜一さん

Q: 被災地に行かれて、感じたことを聞かせてください。

支援チームが入ったのが一か月後でした。それまでは、地域の方々がお互いに支え合い励まし合ってこられたことを実感しました。援助を受けられるようになるまでは、自分たちの力で生き延びる必要がありますが、そういう地域の力を感じました。

Q: DWATについて教えてください。

ボランティアではなく、被災地の自治体の要請により、長野県社会福祉協議会が派遣チームを組織し派遣します。切れ目のないように活動し続けることで、黄色いベストのDWATに対する被災者の方々の信頼感が高まっています。

介護等を必要とする高齢者や障がい有するの方々に対して自分たちが日ごろできている支援を実施しました。被災者に寄り添い不安を受け止め、DWAT以外の専門職チームと連携しながら、避難所の運営にも関りました。避難所の日課作成や運動機会の確保等に協力し、避難所の運営者と避難者が語り合う座談会にも参加しました。

Q: みなさんに伝えたいことは?

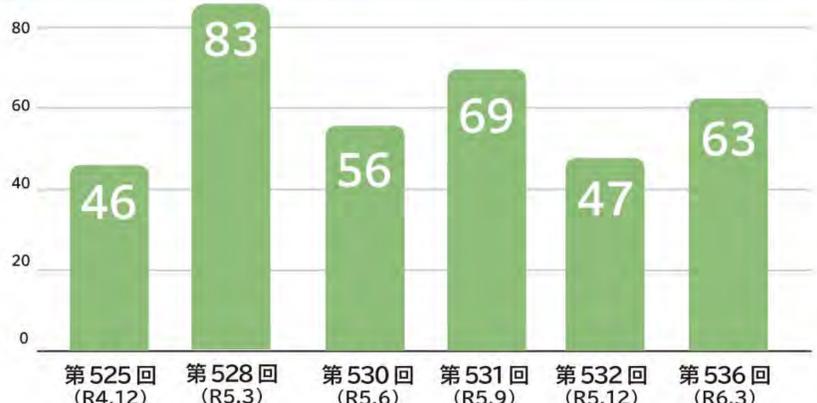
被災地支援に行き、経験したことを多くの方に伝え、自分自身や地域の防災力や減災力を高めていきたいと考えています。日頃やっていること以上のことはできないので、住民一人一人が自分でできることや助けになれることを考え、助け助けられる関係をつくり、とり残しを起こさない地域づくりをしていくことが大切です。日々の小さな行動の積み重ねが、災害に強い地域や町をつくっていくのだと思います。

議会を傍聴しませんか?

定例会 (予定)	一般質問 (予定)
5/30 木	6/3 月・4 火

※会期中であれば傍聴席から傍聴可能 ※入退場自由。役場4階へお越しください

これまでの傍聴人 単位: 人



No. 182

議会だより

令和6年5月1日発行

「議会広報編集委員会」

委員長: 牛山吉彦
委員: 山口肇・渡辺葉

副委員長: 西明子

発行: 富士見町議会 編集: 議会広報編集委員会
お問い合わせ: 富士見町 議会事務局 ☎0266-629403
〒399-0292 長野県諏訪郡富士見町落合10777



議会Webサイト



議会チャンネル